

■活動内容

サンバ音楽を用いた多文化交流会のお手伝いをさせて頂く中で、学校運営に困られているコレジオ・サンタナ学園さんの現状を地域の方に知って頂けないかと、そして実際に何らかの支援ができないかと、平成23年2月より当法人より地域の事業所などに働きかけて古紙回収・換金を行い、換金代を学校の運営に役立てて頂けるようにと応援活動を開始しました。

地域のイベントやSNSで近隣の医療・介護・障がい施設・住民さんへ呼びかけを行い古紙の回収・換金活動を行っています。活動方法は、古紙を事業所等に保管して頂き、月に1回、回収に伺ったり、当事業所に随時届けて頂いている古紙を換金して、換金代をコレジオ・サンタナ学園へお届けしています。



■団体名	特定非営利活動法人加楽 古紙回収活動 (for ブラジル学校)
■参加者	地域の医療・高齢・障害福祉事業所、一般企業、住民さん
■活動拠点 連絡先	東近江市を中心とした近隣市町内 特定非営利活動法人加楽 東近江市下中野町637番地 担当 楠神渉、野沢郁子 TEL:0749-46-0608 E-Mail:karaku@sand.ocn.ne.jp



■活動のきっかけ・実現までの経緯

東近江市内の多文化音楽交流会 おうみサンバ・パーカッション・ワークショップでブラジル学校サンタ学園の校長先生のお話を聞かせて頂き、生徒さんの半数が学費を払えずに運営に困られていること、そして日本人の友人を持たないサンタ学園の生徒さんが社会に出た時に、犯罪に巻き込まれてしまうことがあることなどを知ることができ、現状を地域の方に知って頂けないかと、そして実際に何らかの支援ができないかと、活動を始めました。

当初は換金額が1,000円程度でしたが、活動に協力して頂く方々が30事業所・住民さんにまで増えて、月1回10,000円程度を学校に届けることができるようになり、学校のガス料金、水道料金の一部に使って頂けており、嬉しく感じています。



利用者さんの声

- 古紙回収活動を通じて、東近江市に36か国の方々がお住まいであること、又近隣にブラジル学校が2つもあることなどを知ることができました。ダンボールなど、ほんの少しでも役立てて頂ければと思います。
- 最初は古紙を引き取ってくれるから便利、程度に思っていたのですが、ブラジル学校さんの運営の状況などを知ることができ、今後も継続して協力していければと思っています。

活動者の声

- 活動をさせて頂いていて、嬉しいこととして、古紙回収時に自宅では食べきれないからと、学校に「食べ助け」で届けて頂きたいと、お米やお野菜を一緒にご準備して頂いている時もあることです。寄付ではなく、「食べ助け」という言葉、田舎ならではの優しい言葉だなんて思って感じています。もう一つ、嬉しいことがあり、活動を行うにあたって車両を無償提供して頂いている事業所があること、又当日の古紙回収作業を近隣の障がい者施設に通う方が、自主的にお手伝いしてくださっていることです。

■活動に対する思いや目標、継続するノウハウ

活動を始めて7年目、30事業所・住民さんにまで活動の輪が広がり、とても嬉しく感じています。又寄付ではなく、「食べ助け」という言葉、田舎ならではの優しい言葉も知ることができ、活動に参加される方々の温かい気持ちに触れています。この活動は月1回の活動ですが、無理なく継続は力なりを合言葉に、活動を続け、ブラジル学校の現状をより多くの方々に知って頂き、地域課題の一つとして、国籍に関係なく、子どもたちの未来について、多文化共生の視点からも共に考えることができる地域を目指していきたいと思っています。